

# 道連ニュース

2014年6月号 No.96

北海道生活協同組合連合会

〒003-0803 札幌市白石区菊水3条4丁目1-3

全労済北海道会館内

TEL 011-841-8601 FAX 011-841-8605

URL: <http://www.doren.coop>

## ～第58回道生協連通常総会を開催～

総会は全議案が議決され、前川専務が辞任し新任として山口専務(前道連理事・コープさっぽろ専務理事)が就任されたことが報告されました。

通常総会が6月20日、ホテルポールスター札幌で開催され、5議案すべてが全会一致で可決されました。

代議員定数は33名で、実出席17名書面議決16名でした。総会は、議長には大森代議員(北海道住宅生協常務)を選任し、麻田会長の挨拶の後、来賓を代表して、佐藤北海道環境生活部・くらし安全局局長よりごあいさつを頂きました。



第58回通常総会麻田会長挨拶

総会は、スムーズな進行で4時20分に終了しました。

総会后開催された交流会には、総勢43名の参加がありました。前川前専務の退任挨拶と乾杯の音頭で始まった交流会では、山崎日生協・北海道東北地連事務

局長、馬場ワーカーズコープ連合会北海道事業本部長より来賓のご挨拶を頂きました。また、重原生協虹友会・会長をはじめ7つの友好団体からのご挨拶と6つの会員活動報告、事務局紹介など盛りだくさんの内容で、あっという間の90分の懇親会でした。

友好団体挨拶では、今年度福祉PJのリーダーとなられました、小樽商科大学特認教授の相内先生から、福祉活動の重要性について熱いお話がありました。

最後に、新任の山口専務理事より、協同組合間提携の活動の重視と今日的生協の役割・福祉に生協が取り組む意義についてのお話があり、内容豊富な総会と懇親会が終了しました。

また一年頑張りましょう！！



佐藤敏道環境生活部くらし安全局長より、ご挨拶を頂戴しました。

## 就任のご挨拶 専務理事 山口敏文



第58回通常総代会の終了後の理事会で前川専務理事の後任として専務理事に互選されました。私は、コープ十勝とコープさっぽろの専務理事の時代に約30年間、北海道生協連の理事、監事に就任しておりました。北海道の地域生協は、2007年のコープ十勝のコープさっぽろとの統合を最後に生活クラブ以外、全てコープさっぽろに一本化されました。結果、地域生協中心の活動から異業種の生協間の交流、連携の活動に北海道生協連の役割も大きく変わりました。

2014年度、北海道生協連の活動方針は、「会員生協間の協同、連携を支え、様々な組織との連携を維持し

ながら組合員の生活の安心が広がることに貢献します」をテーマにしています。具体的な活動課題としては、会員相互の持ち味を活かした事業連携を推進し、事業経営の強化に貢献すること。超高齢化が進み老後の不安が広がる社会環境の中で、高齢化社会における生協の福祉事業のあり方について調査、研究、連携活動の取り組みを行なうこと。道内のJA、漁連、森連などの協同組合と共通するテーマで学習し、連携を強めること。灯油価格が1リットル100円を越え、家計への負担は大きくなっている中で、福祉灯油の取り組みを中心に成果をあげることを重点的に取り組みたいと考えています。

「北海道が元気になる、会員生協が元気になるための調整役として一生懸命努力しますので引き続き皆様方のご支援、ご協力をお願いします」

## 《2014年度役員名簿・事務局体制》

会長理事 麻田 信二 (員外)  
 専務理事(新任) 山口 敏文 (員外)  
 理事 伊東 完 (北海道学校常勤理事)  
 理事 小松 徹人  
 (さっぽろ高齢者福祉専務理事)  
 理事 中島 則裕 (コープさっぽろ専務理事)  
 理事 中村 伸司 (北海道大学専務理事)  
 理事 林 朋子 (コープさっぽろ理事)  
 理事 二川 悟 (生活クラブ専務理事)  
 理事 堀江 修治 (北海道労働者共済専務理事)

理事 米田 恵子 (員外)  
 特命理事 前川 和広 (員外)  
 特定監事 菅田 敏文 (北海道医療専務理事)  
 監事 佐藤 敦紀  
 (大学生協連北海道事業連合常務理事)  
 事務局長 川原 敬神  
 事務局 小野 弘也 (「元気プロ」代表)  
 事務局 中山 久夫 (福祉PJ事務局)  
 事務局 山田 望



## 取り巻く環境が厳しい中、 組合員の生活向上と安定した事業継続に向け

北海道電力生活協同組合「2014年度通常総代会」を6月12日(木)東京ドームホテル札幌において、総代定数126名中、122名が出席（うち、委任状出席3名）し開催しました。

議案は①2013年度事業報告、決算報告、監査報告に関する件、②2013年度剰余金処分に関する件、③2014年度事業計画および収支予算に関する件、④2014年度役員報酬額に関する件、⑤退任役員慰労（記念品）に関する件、⑥利用分量割戻金の全額出資金への振替に関する件、⑦他団体への加入に関する件、⑧

組合員の除名に関する件⑨役員選挙に関する件の全9議案を提案・審議し全議案とも可決承認されました。

東日本大震災以降、当生協組合員を取り巻く環境は厳しく、消費税増税もあり、生活に不安を感じる組合員も多くなっており、このような時期だからこそ生協の果たす役割は大きいものと考え、組合員の生活と可処分所得の実質的な向上を念頭に置き、安心して利用いただける安定した事業運営の継続に向け努力していくことを確認し閉会しました。

## コープさっぽろ 第49回 通常総代会終了報告

2014年6月5日(木)10時30分～13時00分、札幌市教育文化会館（大ホール）にて「第49回通常総代会」が開催され、総代総数1,167名に対し、本人出席数337名、委任出席数15名、書面議決書による出席数791名（地区総代会出席者341名を含む）、欠席24名、出席者総合計数1,143名で、第1号議案から第7号議案までの全ての議案が、出席した総代の過半数の賛成多数をもって可決されました。



### ■ 議案採決項目

議案	議案
第1号議案	2013年度事業報告承認の件
第2号議案	2013年度決算報告及び損失処理案承認の件
第3号議案	2014年度事業方針・予算決定の件
第4号議案	監事監査規約改訂の件
第5号議案	役員報酬決定の件
第6号議案	役員選任の件
第7号議案	議案決議効力発生の件

## ホクネットが内閣府特命担当大臣表彰を受賞！

消費者、事業者、行政が一体となって、消費者問題に関する教育・啓発等の事業を集中的に行っている「消費者月間」の平成26年度テーマは「つながろう消費者～安全・安心なくらしのために～」でした。5月26日、三田共用会議所で消費者庁主催の消費者月間シンポジウムが開催されました。始めに独立行政法人国民生活センター理事長の松本恒雄氏が、「つながろう消費者：高齢者の安全・安心なくらしのために」というテーマの基調講演で、「『お金』『健康』『孤独』という3大不安に付け込む悪質商法に、体力や判断力が弱くなった高齢者が騙される事例が増えている。消費者保護の水準を高めることが高齢消費者保護にもつながる。被害を救済するための手段を整備したり、被害抑止するために事業者の経済的制裁を強めるなどとともに、高齢者と接する様々な関係者の見守り、連携が必要。」と話しました。講演後はパネルディスカッショ

ンが行なわれ、「指定外の番号からの電話には『この通話は記録されます』と音声が出る通話記録付き電話を、悪質業者の持つ『カモリスト』に載っている方のお宅にこそ設置したいが、情報利用は難しい。」「消費者行政という部署の問題と狭めないで、『安全・安心なまちづくり』という考え方で組織横断的に取り組む。」など、人と人のつながりを大事にしていくことの重要性が話し合われました。終了後には受賞者の発表があり、消費者支援ネット北海道が受賞者として登壇しました。



受賞者としてステージに立つ消費者支援ネット北海道の道尻専務理事